



NIIGATA SEIRYO

式 辞

本日ここにご来賓の方々ならびに入学生のご家族の皆様のご列席を賜り、2025年度新潟青陵大学短期大学部の入学式を挙げていただきますことを心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、入学まことにめでたうございます。そしてご子弟の成長を温かく見守り、支援してこられた方々に対して心よりお祝い申し上げます。

皆さんは今、これからの大学生活への期待でわくわく、胸を踊らせていることでしょう。今抱いている希望を忘れることなく、学生生活を送っていただきたいと思います。私たち教職員も、皆さんに寄り添い、希望が叶うように、懸命に努力いたします。

みなさんは、様々な分野で、基礎的な考え方から、専門的知識を身につけていくこととなります。どのような学びにも、共通して、大変重要なことがあると思います。それについてお話しします。それは、自ら考えるということです。すこし、格好をつけていえば主体的に考えるということです。

自ら考える、自分で考えるといわれてもぴんとこないかもしれません。今までそうしてきたし、当たり前のことじゃないと思う人がいるかもしれません。でもどうでしょう。高校までの学びを思い出してください。教科書があり、問題には正しい解答があり、それを導き出すこと、あるいは暗記していることが求められてきたのではないのでしょうか。しかし、教室の外に出ると違いましたね。お昼に何を食べたらよいかというような日常的なことから、どのような進路を選択したらよいかという重大問題にいたるまで、自分で考え、判断し、選択しなければならなかったですね。どこかに正解があるというものではありません。皆さんは、それぞれ、やりたいこと、実現するために必要な条件、いろいろなことを考えて、これが一番かなと思って、決めてきたのではないのでしょうか。それが一番の正解だと思えるときもあるでしょうし、やむを得ないから次善の選択をしたというときもあるでしょう。ただ、それは、そのときの皆さんの頭の中でのことですよね。少ししたら、失敗したなど後悔したり、案外

よかったと思ったりすることはたくさんあったのではないのでしょうか。短大で学ぶことは、教室の中でも、自分で考えるという力を強くすることが第一の目標だと考えてください。具体的には、どのような科目でも、以下の三つ力を身につけることが基本として組み立てられています。一つは、人の意見を理解し、自分の意見を正確に伝えるコミュニケーション能力、二つは、ある集団の中で人々の異なる考えを踏まえ、全員が納得する目標をたてていけるようにする調整能力、三つは皆さんが考えたこと、あるいはグループで決めた目的などを他の人にわかりやすく、正確に伝えるプレゼンテーション能力です。これらの能力はどのような場面でも必要とされる力、別の言い方をするとスキルですから、ポータブルスキルというようにいうこともできます。この三つの力、スキルが身につくと、自然と自分で考える力、主体的に考える力が強くなると思います。

ITの急速な進歩で私たちの生活は大変便利になってきましたが、反面、根拠のない情報が大手を振って広まり、多くの人々を不幸にするような将来を招きかねないという恐れも出てきています。自分で考える力を皆さんが持てば、そうした状況は避けることができるのではないかと思います。これまで以上に主体的に考える力を身につけることの重要性がましているときなのではないでしょうか、今は。

私たちが学ぶ場所は素晴らしい自然のなかです。日本海は四季折々表情が変わります。大きな佐渡の島影、あかね色の夕映えは何度見ても感動します。この環境で学ぶことで、豊かな情感が育まれるでしょうし、また、自立の力も強くなると思います。人間力、専門力を培う場所としては最適なキャンパスだと思います。そして、皆さんには、多くの人々との出会いが待っています。スポーツ、ボランティア、サークル活動にぜひ参加して、学友たち、そしてまた教職員と交流してください。学園歌に「若き日の二つなき日」とあります。このキャンパスで充実した学生生活を堪能してください。

新入生の皆さん、私たち新潟青陵大学短期大学部教職員一同は皆さんを新しい仲間として心から歓迎します。ともに青陵の新しい歴史を刻みましょう。

2025年4月2日

新潟青陵大学短期大学部
学長 菅原 陽心